

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
****	ビジネス総合学科		0	0	22	22	7	
(備考) ● 専門科目には、専門科目以外の科目群（関連科目・自由科目）の授業科目も含まれる。 ● 実践的教育から構成される授業科目も含まれる。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ポータルサイト（JUnavi）のトップページに掲載する。 https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.josai.jp/about/director/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤 上原 明 理事長	大正製薬ホールディングス(株)代表取締役社長	2021.4.1 ~ 2025.3.31	理事長
非常勤 吉本 高志 理事	元独立行政法人大学入試センター理事長	2021.4.1 ~ 2025.3.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 羽入 佐和子 理事	元国会図書館館長	2021.4.1 ~ 2025.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 浅島 誠 理事	帝京大学学術顧問	2019.4.1 ~ 2023.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

○授業計画書《シラバス》の作成過程について

シラバス掲載内容及び作成にあたっての留意は以下のとおり

- (1) 科目基本情報
 - ①科目名
 - ②配当年次
 - ③開講期間
 - ④単位数
 - ⑤担当教員名
 - ⑥期間・曜日・時限・教室
- (2) 授業の目的・目標等
 - ①授業の概要
 - ②授業の目的
 - ③学習成果
 - ④到達目標
 - ⑤実務経験と授業内容との関連
※実務経験を有する教員の場合は記述する。
- (3) 準備学習の指示
- (4) 講義スケジュール
- (5) 教科書
- (6) 参考文献
- (7) 授業の方法
- (8) 成績評価方法
※到達目標の達成度を測定できる方法を記述する。
 - ・評価方法
 - ・割合
 - ・評価基準など
- (9) オフィスアワー、居室
- (10) その他特記事項

なお、シラバス作成にあたり、3つのポリシー及び当該学部・学科のカリキュラムポリシーに準じて記述するよう留意し作成している（結果として大学の教育の質の保証に繋がることを意識し作成にあたる）。

○授業計画の作成・公表時期

例年、前年度の10月中旬頃に各教員が担当する授業担当科目が決定する。
それに伴い、11月初旬頃からそれぞれの教員がシラバスの作成が始まり、学部内のチェックを得て新年度までに完成させる。
公表方法及び公表時期については、当該年度開始と同時に大学のポータルサイト（JUnavi）や大学ホームページから閲覧できるようになっている。

授業計画書の公表方法	ポータルサイト（JUnavi）のトップページに掲載する。 https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do
------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学年毎に履修すべき科目や選択科目を設置している。

授業は原則として、前期・後期それぞれ90分授業を基本（実験・実習は除く）とし、15週の授業で構成している。さらに1年間の履修上限を48単位までとすることで、学生の各授業科目の学習時間の確保を行い、単位制度の実質化につなげている。

履修した授業科目に対しては、あらかじめシラバスで記してある成績評価方法（試験やその他の評価方法〈課題・レポート等〉）により評価をしている。なお、いずれの授業科目も授業時数の1/3以上欠席した場合には、原則として当該授業科目の受験資格を失うこととしている。

○単位授与及び成績評価基準について

学生が履修した授業科目に対して、試験その他の方法（レポート等）により学習評価をしたうえで、その単位を認定する。単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。評価の基準については、次のとおりとなっている。

成績評価	評価基準（点）	可否
S	100～90	合格
A	89～80	合格
B	79～70	合格
C	69～60	合格
F	59以下	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価方法及び評価基準については短期大学設置基準に基づいて、学則第 22 条ならびにシラバスに記載されている。本学では、GPA 制度を導入しており、学生は自らの学習成果の推移を知り、学修の自己管理ができるようになっている。GPA の結果は、成績表や成績証明書に記載している。

学則に示される成績評価の基準は、100 点満点で、100～90 点が「S」評価、89～80 点が「A」評価、79～70 点が「B」評価、69～60 点が「C」評価で、以上が合格とし、59 点以下が「F」評価の不合格となる。それぞれの GPA のポイントは、4、3、2、1、0 となっている。

単位については、短期大学設置基準に基づき学則 20 条で定められている。

(G P の基準)

成績評価(表示)	評価の基準(点)	合否	G P
S	100～90	合格	4
A	89～80	合格	3
B	79～70	合格	2
C	69～60	合格	1
F	59 以下	不合格	0

$$G P A = \frac{[G P \times \text{当該科目の単位数}] \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計 (F 評価を含む)}}$$

※不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA 計算式に算入されない。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

〈成績評価基準〉
学生便覧（入学時に配付）の「履修の手引と手続き」に掲載
[学生便覧入手方法]
城西大学教務課にて入手可能
TEL 049-271-7723(直通)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【学位授与の方針】

ビジネス総合学科は、「自立した社会人として求められる人間力」を基本的学習成果と定めています。「人間力」とは、具体的には①前に踏み出す力、②考える力、③協力する力です。また本学科は、専門的学習成果を「職業人として活躍できる幅広い教養と、英語、情報、メディア、会計、販売・接客、事務処理等のビジネススキル」と定めています。ビジネス総合学科は、学科の所定の単位を修得した人が、以下の能力・態度を身につけていると判断し、短期大学士（ビジネス総合）の学位を授与します。

- 社会人として必要とされる基礎能力および態度
- ビジネスの世界で働くマインド（集中力、知的関心、積極性、自主性等）
- 組織で働く協調性

【卒業判定の手順】

最終学年（2年生）の成績評価表を基に、定められた卒業要件にそって、科目の成績評価が適切に行われているか確認を行った上で、卒業可否を決定する。各学部において定められた、分野ごとの科目評価を確認する。

なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）に行う。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学ホームページにて公表 [https://www.josai.ac.jp/] なお、卒業に必要な科目及び単位数については、「学生便覧」（入学時に配付）の「履修の手引と手続き」に掲載している。 [学生便覧入手方法] 城西大学教務課にて入手可能 TEL 049-271-7723(直通)
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2020.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/zaisan_2020.pdf
事業報告書	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/jigyou_2020.pdf
監事による監査報告(書)	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kansa_2020.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:学校法人城西大学2021年度事業計画 対象年度:2021年度)
公表方法: https://www.josai.jp/about/plan/project/pdf/jigyokeikaku_2021.pdf
中長期計画(名称:学校法人城西大学中期計画 対象年度:2020~2024年度)
公表方法: https://www.josai.jp/about/plan/pdf/chukikeikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ビジネス総合学科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html) (概要) 短期大学は、知識と専門の学術を教授・研究し、知的・道徳的能力の涵養を図ることによって、社会におけるさまざまなニーズにこたえられる幅広い教養と、実社会に関する専門的な知識・技能を兼ね備えた人材の育成を目指します。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html) (概要) 城西短期大学は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、豊かな人間性と社会性を兼ね備え、社会の発展に貢献できる「人間力」をもった人材を育成します。本学は、以下の能力を修得し、学科の学位授与方針を満たした人に、短期大学士の学位を授与します。 ●広い教養と、深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力 ●社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的能力 ●社会の多様性に配慮して主体的かつ協同的に実社会で貢献できる能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html) (概要) 城西短期大学のカリキュラムは、建学の精神「学問による人間形成」を具現化した「自立した社会人として求められる人間力」を育成することを目的としています。また、本学の別称「城西ベースカレッジ」という言葉に象徴されるように、どんな進路にも必要な基礎力（ベース）を身につけ、就職はもとより学部への編入・進学、留学など、次のステップにつながるカリキュラムを準備します。社会で必要とされる基礎的な能力を養成する「基本科目」、専門的知識・技能を養成する「専門科目」、グローバルな人材を養成する多彩な語学教育を含めた「関連科目」を設置し、教育目標である「人間力」の獲得に向けて段階的、体系的なカリキュラム編成を行います。
入学者の受入れに関する方針

(公表方法 : <https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>)

(概要)

城西短期大学の建学の精神、ならびにその教育目標を理解すると同時に、本学の教育方針に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢をもつ人の入学を期待します。入学者の受け入れは、以下に挙げる点に留意して多面的に評価します。

- 短期大学の教育目的に相応しい人材
- 基礎学力と専門教育に関する教科の理解度、ならびに人物の適性
- 学力だけでは計ることのできない能力や意欲、将来の可能性

学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、本学の教育目的と求める人物像を理解し、その資質と能力を有する優秀な人材に対して、本学独自の入学者選抜により広く門戸を開く入試制度です。本学で定める推薦基準を満たし、高等学校長から推薦される人を対象として、面接審査、書類審査により選抜します。面接審査では本学への適性や入学後の目的意識などを評価します。書類審査では、調査書や志願理由書を主とし、学習記録や課外活動、地域社会活動、取得資格など、総合的な資質や能力を評価します。推薦を受ける高等学校は、本学において高等学校の教育実績に基づき定めます。

総合型選抜

総合型選抜は、本学の教育目的と求める人物像を理解し、その資質と能力を有する個性的な人材に対して、本学独自の入学者選抜により広く門戸を開く入試制度です。学力検査では評価しがたい資質や能力を総合的に評価し、思考力、創造性に溢れる学習意欲の高い人材を選抜します。面接審査と書類審査により、特技や能力、熱心に取り組んだ活動や研究、取得資格、目的意識、学習意欲などを総合的かつ多面的に評価します。

一般選抜

一般選抜では、本学独自の学力検査を行います。学力検査では、本学へ入学した後の学習内容に必要な基礎学力および応用力、理解力を評価します。

一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜 一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜は、大学入学共通テストを受験した人を対象とし、本学独自の学力検査は行いません。大学入学共通テストの結果で、本学へ入学後の学習内容に必要な基礎学力および応用力、理解力を評価します。

転入学試験

転入学試験は、他の短期大学で学び、本学の教育方針および教育目的と求める人物像を理解する優秀な人材を受け入れるための入試制度です。学力検査では、本学へ入学した後の学習内容に必要な基礎学力および応用力、理解力を、面接審査では本学への適性や入学後の学習意欲や目的意識などを評価します。

外国人留学生入学試験

外国人留学生入学試験は、本学の教育方針および教育目的と求める人物像を理解する優秀かつ勉学意欲旺盛な外国人留学生を対象に、短期大学の門戸を広く海外に開き、国際的に活躍しうる有為な人材を募ることを目的とした入試制度です。学力検査では、本学独自の入学者選抜方法または日本留学試験を利用した選抜方法等により、入学後の学習内容に必要な基礎学力および応用力、理解力を評価します。面接審査および書類審査では、本学への適性や入学後の学習意欲や目的意識などを評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
ビジネス総合学科	0人	-					0人
	-	4人	5人	1人	人	人	10
	-	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
1人		14人				15人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://researcher.josai.ac.jp/search?m=home&l=ja					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ビジネス総合 学科	120人	93人	77%	240人	231人	96%	欠員の範囲	0人
合計	120人	93人	77%	240人	231人	96%	人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ビジネス総合 学科	137人 (100%)	40人 (29.2%)	74人 (54.0%)	23人 (16.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	137人 (100%)	40人 (29.2%)	74人 (54.0%)	23人 (16.8%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

・進学先(編入学)

東京福祉大学、東京富士大学、関東学院大学、城西国際大学、城西大学

・就職先

【小売】

ラルフローレン(株)、(株)ユニクロ、アイングループ、(株)トモズ、(株)クスリのアオキ、(株)サンドラッグ、ネットヨタ埼玉(株)、(株)クスリのアオキ、(株)コジマ、(株)サンドラッグ、アサヒ飲料販売(株)

<p>【不動産・建設・住宅】 (株)アップル、日本ハウズイング(株)、グッドリビング(株)、(株)アークリンク、(株)友隣</p> <p>【人材紹介・人材派遣・アウトソーシング】 SBSスタッフ(株)、(株)スタッフサービス、(株)ビーティーウィズユー、WDB工学(株)</p> <p>【メーカー】 (株)新和製作所、(株)大村製作所、カーリットホールディングス(株)、カネジン食品(株)、MSPC(株)</p> <p>【商社】 百信(株)、伊丹産業(株)、大洋電機テクノ販売(株)、(株)ヒットマン</p> <p>【病院】 埼玉石心会病院</p>
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
ビジネス総合 学科	116人 (100%)	80人 (69.0%)	10人 (8.6%)	26人 (22.4%)	0人 (0%)
合計	116人 (100%)	80人 (69.0%)	10人 (8.6%)	26人 (22.4%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスに科目担当教員が授業の目的・目標、学修成果、到達目標、授業毎に講義の内容等を公表しています。</p> <p>さらに、授業の方法や成績評価方法、オフィスアワーの時間帯、居室等も記載しています。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 年度末に開催される各学部の卒業判定教授会において、最終学年（2年生）の成績評価表を基に、定められた卒業要件の科目の成績が適切に評価されているかの確認をしたうえで、卒業の可否を決定する。〔各学部において定められた分野の科目の評価を確認〕 なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）を行う。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学	ビジネス総合学科	62 単位	⑦・無	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/campus/index.html なお、紙媒体の大学案内にも掲載しております。 *紙媒体入手方法 城西大学入試課宛てに電話の上入手可能 TEL 049-271-7711 (直通)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
—	ビジネス総合学科	670,000 円	150,000 円	284,000 円 (2年目以降は 184,000 円) 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ①学内奨学金として、入学成績上位者に対する授業料減免制度、学業成績・人物優秀者に対する授業料減免制度、経済困窮者への経済支援奨学金制度、本学独自制度による海外留学に伴う奨励制度、海外からの留学生に対する授業料減免制度、学費支弁者の死亡による授業料・施設整備費の全額補助制度があります。 ②学外奨学金として、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体の奨学金を活用し支援を行っています。 ③障がい学生には、学生サポート、学内のバリアフリー化等、可能な限りの支援を行っている。 ④学部学生には、選考により、教育的配慮の下に学内業務に従事させ、経済的援助を行い、修学の奨励を図っています。(ワークスタディ・プログラム制度) ⑤図書館においては、論文やレポートの書き方のアドバイス、文献の探し方やパソコンの使い方を教える、学生アドバイザーを配置し学習支援にあたっています。
b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

本学では、就職支援のために就職委員会を組織し、全学的事務組織としてのキャリアサポートセンターと連携しながら、就職支援活動を進めている。就職委員は随時、教授会等で就職状況を報告し、基礎ゼミ・ゼミ担当教員と連携を取りながら、個々の学生の就職活動を支援している。なお、就職委員は城西大学全学就職委員会にも所属している。キャリアサポートセンター職員は学部ごとの担当者が決まっており、本学学生を担当する職員が1名いる。

キャリアサポートセンターの中に就職支援室、就職資料室、就職課学習室がある。支援室には受付カウンター、個別面談室(4室)、ビデオ及びモニター(1組)、学生用コピー機(1機)、閲覧テーブル、就職関係書架、就職活動用PC設備(常時開放、15台)があり、日曜日等を除いて利用可能である。資料として求人票、会社案内等がファイリングされ閲覧できる。

さらに、本学ホームページ(<http://www.josai.ac.jp/career/index.html>)を利用して就職活動関連情報を提供している。また、学生個人の就職活動を支援するウェブサイト「城西インターンシップ・求人管理システム」も提供している。

また、学生一人ひとりが納得のいく進路決定ができるよう、様々なサポートを行っている。その内容は、きめ細かな個別指導、先を見据えた各種ガイダンスの開催、企業の採用活動状況を鑑みた時期での情報提供の3点である。

① きめ細かな個別指導

各学年と個人の考えや状態に合わせた助言をキャリアカウンセラー(国家資格キャリアコンサルタント資格保有職員)が行っている。その体制は、担当者を設け、全学生の把握できるようにしている。主な助言は、進路・職業の選択の相談からエントリーシート・履歴書の書き方・添削、模擬面接等である。

② 先を見据えた各種ガイダンスの開催

大きく分けて就職活動の準備学年(短大1年生)向け、就職活動生(短大2年生)向けと2つに分かれる。就職活動の準備学年向けでは、履歴書・エントリーシートの作成方法や、自己分析、企業研究の仕方や必要な情報提供など実践的な内容で開催。就職活動生向けでは、企業研究会を時期に応じて2回の開催、求人紹介会をハローワークと連携し開催。

③ 企業の採用活動状況を鑑みた時期での情報提供

「城西インターンシップ・求人管理システム」を活用して、最新の求人・インターンシップ・対策講座・各種ガイダンス情報、相談ができる時間を公開し、提供を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

①保健センターは看護師が定期健康診断、突発的な怪我や病気等に対応を行っています。

(ア) 授業中に気分が悪くなったとき

(イ) 課外活動中の怪我をしたとき

(ウ) 持病をもっている学生の健康管理

(エ) 週一回内科医による健康相談が可能です。

(オ) 神経科・心療内科医師による悩みごと相談が可能

②学生相談室は、公認心理師、臨床心理士が学生の悩みごとや心配ごとなどに対応をしています。

(ア) 学生支援が必要な学生に対し、担当学部、学科の教職員と調整を行い授業が受けられるよう支援

(イ) 課外活動、学業のこと、友人関係のことなどの悩みごとなど対応

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/kohyo/publication.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F211310102235
学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人 城西大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		17人	18人	19人
内 訳	第Ⅰ区分	11人	13人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				19人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
	0人	0人	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。